

# 三条教区通信

第116号

発行日 2017年3月1日  
 発行者 三条教務所長 森田成美  
 発行所 真宗大谷派三条教務所  
 〒955-0071 三条市本町2丁目1-57  
 E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp  
 ホームページ: www.gobosama.net

三条教区 🔍

## 今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

いちねんきょうき  
 一念慶喜するひとは  
 おうじょう  
 往生かならず  
 さだまりぬ

『浄土和讃』親鸞聖人

People who attain the one thought-moment of joy,  
their birth becomes completely settled.

*Hymns of the Pure Land, Shinran Shōnin*

## 三条教区災害対策委員会のお知らせ

熊本地震 糸魚川大規模火災により被災された皆様に  
心よりお見舞い申し上げます

2016(平成 28)年熊本地震について、教区内寺院・教会をはじめ有縁の皆様から募りました救援金は、2017年2月28日現在で総額5,843,774円となりました。2016年6月30日付で4,097,161円、11月30日付で1,615,671円を送金いたしましたことをご報告申し上げます。救援金は現在も受付を継続させていただいておりますので、引き続きご協力賜りますよう、何卒、お願い申し上げます。

また、東日本大震災救援金は2014年度末(2015年6月30日)現在、総額14,424,675円となりました(使途:仙台教区へ10,000,000円、東京教区へ2,000,000円、復興支援活動資金3,825,805円)。2015年度より、東日本大震災救援金は、引き続き災害救援・復興カンパ金としてお受けいたしており、現在までにご協力いただいた金額は387,253円となりました。

御礼を申し上げますとともに、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 研修会のご案内

### ■ 教区女性研修会

開催案内既送

- ◆日時 2017年3月10日(金)
- ◆場所 三条別院・教区同朋会館
- ◆講師 上杉彰子氏(小松教区)
- ◆テーマ 「正信偈に学ぶ」～人身受け難し～

- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 1,500円(昼食代含む)
- ◆申込み お早めに
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

### ■ 「差別と真宗」基礎講座

開催案内既送

- ◆日時 2017年3月11日(土)
- ◆場所 第18組勝念寺
- ◆講師 中島義紘氏(「差別と真宗」共学研修会部門スタッフ)
- ◆テーマ 「何故、部落差別問題が真宗門徒の信心の課題となるのか」

- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも
- ◆問合せ 三条教務所(担当:藤波)

### ■ 声明基本講習会

開催案内既送

- ◆日時 2017年3月27日(月) 9:30～16:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆内容 得度班・日常法務班・声明研鑽班
- ◆参加費 500円
- ◆対象 どなたでも
- ◆申込み 2月28日(火)締め切りました。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

### ■ 真宗教団連合新潟県支部 公開講演会

開催案内同封

- ◆日時 2017年3月29日(水) 14:00
- ◆場所 浄土真宗本願寺派 新潟別院  
長岡市与板町与板乙 4356 Tel 0258-72-2120
- ◆講演者 講談師 旭堂さくら(川本三栄子)氏
- ◆内容 第1部 若き日の親鸞聖人  
第2部 親鸞聖人の妻・恵信尼様
- ◆対象 どなたでも
- ◆参加費 無料
- ◆申込み 三条教務所(担当:結城)

### ■ 教区推進員教習 後期教習(奉仕団)

開催案内同封

- ◆日時 2017年4月7日(金)14:30～9日(日)13:30
- ◆場所 真宗本廟(東本願寺)同朋会館
- ◆講師 塚本智光氏(第18組 等運寺)
- ◆対象 推進員養成講座または推進員教習の前期教習修了者
- ◆申込み お寺または教務所まで
- ◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

### ■ 仏青交流研修会

開催案内同封

- ◆日時 2017年4月12日(水) 14:00～17:00
- ◆場所 教区同朋会館
- ◆講師 松下弓月氏(真言宗僧侶・臨床心理士)
- ◆内容 臨床心理学をグループケアに活かす一儀礼とその心理学的意義―

- ◆参加費 500 円
- ◆対 象 僧侶
- ◆申込み 不要
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ 春季声明講習会

開催案内同封

- ◆日 時 2017年 4 月 19 日(水) 10:00～16:00
- ◆場 所 教区同朋会館
- ◆講 師 泉 康夫氏(本廟部 堂衆)
- ◆内 容 葬儀式について
- ◆参加費 500 円
- ◆対 象 僧侶
- ◆申込み 不要
- ◆問合せ 三条教務所(担当:天兒)

■ みのりの会

開催案内既送

- ◆期 間 2017 年 4 月 24 日(月)～25 日(火)
- ◆場 所 瀬波温泉 大観荘せなみの湯
- ◆講 師 大平博義氏(第 22 組安善寺住職)
- ◆参加費 15,000 円(宿泊費・食費 3 食・記念写真代等)
- ◆対 象 坊守、前坊守、准坊守、若坊守
- ◆申込み 各組坊守会長へ 3 月 15 日(水)までに
- ◆主 催 三条教区坊守会
- ◆問合せ 三条教務所(担当:宇佐美)

■ 新任教師研修会

開催案内同封

- ◆日 時 2017 年 5 月 21 日(日)～22 日(月)
- ◆会 場 教区同朋会館
- ◆講 師 竹橋 太氏(儀式指導研究所研究員)
- ◆講 題 「真宗の教えと儀式」
- ◆参加費 4,000 円(夕食・朝食、懇親会費、宿泊冥加金含む)
- ◆対 象 大谷派教師資格取得後 5 年以内の方または寺院に戻って 5 年以内の方、その他、受講を希望される大谷派教師の方。

■ 推進員前期教習 報告

楽しかった！推進員前期教習

推進員教習部門スタッフ 第 20 組常明寺 窪 智至  
2月 18 日より 19 日の1泊2日、三条教区同朋会館にて、  
教区推進員前期教習が開かれました。講師に第 18 組等運  
寺御住職、塚本智光氏をお迎えし、8名の受講者の参加を  
いただきました。



講師の塚本智光氏(第 18 組等運寺)

まず講義の時間では、み教えの根幹をしっかりと押さえ、  
「広く深く根を張った樹木が伸びやかに成長し大樹となるよ  
うに、まずは真宗の基本を学んでいただきたい」という願い

が示され、「念仏成仏これ真宗」をテーマとしたお話をいた  
だきました。声明練習、お内仏のお給仕の時間と合わせ、  
受講者はそれぞれ真剣に耳を傾けておられました。



受講者の方々 於三条教区同朋会館

そして座談の時間では、それぞれすぐに打ち解け合い、  
講義の内容や日々の感じられていることなどを自由に語り  
合いました。

また、諸殿拝観の折には、列座が本堂並びに旧御堂を  
はじめご案内説明してくださいました。きっと別院をより身近  
に感じていただけたことでしょう。

清掃奉仕の時間では、仏具のお磨きをしました。大きな  
鶴亀に触れたり、見慣れない仏具の説明に感嘆したりしな  
がら、熱心にお磨きをしておられました。満足いくまで磨い  
た後の「どれ、こんなもんかな！」と掲げられた仏具は鏡の  
ように光り、汗ばんだ笑顔を写していました。



仏具のお磨きをする参加者

推進員教習、あるいは推進員養成講座は、兎角「推進  
員」という肩書が重く感じられ、受講者も尻込みしてしまうも  
のです。しかしながら今回の教習は、本当に楽しかった。真  
剣で楽しかった！先生の講義の一つ一つに「そうだったの  
か！」と頷き、座談ではそれぞれの今までの歩みと照らし合  
わせ、教えを確認しあう。時に笑顔がこぼれ、時に真摯に  
頷きあう。真宗のみ教えをいただくということは、新たな発見  
と朋との出遇いに溢れているものなのだと思えて教えてい  
ただきました。この1泊2日の前期教習で体験した真宗門徒  
の生活は、大変豊かで楽しいものでした。そして、4月の後  
期教習、真宗本廟同朋会館での生活もまた、より楽しいも  
のになるに違いないと感じる前期教習でした。

## 教務所からのお知らせ

### ◎情報をお寄せください

教区教化研修計画 教化重点項目「報恩講」の取り組みとして、特徴的な活動をされているお寺を皆様にご紹介したく思っております。自薦・他薦問わず、ぜひ三条教務所駐在教導 西山までご紹介ください。

また、報恩講の繁盛に向けた課題や悩みもご相談ください。教化委員会における報恩講活性化プロジェクトの企画検討項目として報告させていただきます。

### ◎教区行事予定表 2017年

3/1(水)	16:00	～2(木)教学研究会 社会広報部会
3/4(土)	13:30	～5(日)第15組推進員養成講座 真宗学院特別講義3
3/6(月)	14:00 14:00	教区門徒会常任委員会懇談会 災害対策委員会
3/8(水)	13:30	同朋の会教導連絡協議会・研修会
3/9(木)	16:00	～10(日)児童指導者研修会(名古屋別院) 教学研究会輪読会
3/10(金)	9:30	教区女性研修会
3/12(日)	11:00	～13(月)真宗学院同窓会
3/13(月)	14:30 15:00	教区門徒戸数調査委員会 声明講習会部門スタッフ会議
3/14(火)	14:00	企画委員会
3/15(水)	14:00 16:00	教区御依頼適正審議会 第15組推進員養成講座反省会
3/16,23(木)	14:00	教化センター
3/24(金)	13:30 14:00	坊守研修会部門会議 推進員教習部門会議
3/27(月)	9:30	声明基本講習会
3/29(水)	14:00 15:30	差別と真宗共学研修会部門会議 靖国問題研修会部門会議
3/30(木)	14:00	正副組長就任予定者会

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれます。また、日程は変更される場合があります。

### ◎訂正とお詫び

先号第115号巻頭「今月の法語」中、誤植がありました。以下のとおり訂正し、お詫びいたします。

(正)仏性 (誤)仏生

## 駐在教導のつぶやき

駐在教導 西山郷光

僕は、お寺に生まれた。長男で、跡取りとなることが願われる立場だった。僕にとってこれは、人生においてやるべきことが生まれる前から決められているということだった▼成長するにつれて、やるべきことと自分の思いが一致することは難しくなり、高校生の頃などは、例えば「念仏」に対して、なんでこんなことをしなければいけないのだろうか、とずいぶん悩んだ時期もあった▼僕は、何かをやる・学ぼうとする際、「こういう意義のあることだな」「こういうことが身につく

かもしれない」などと判断し、価値がありそうならば学ぼう、という思考で取り組んでいたと思う。いや、思考というよりも生き方そのものがそういうあり方だった気がする。半ば無意識的に起こっていることで、少し覚束ないが、そういう姿勢で生きてきた。と思う▼よくわからないものをやるはずがない、誰だってそうだ。これが当たり前だと思っていた▼歌舞伎役者の坂東玉三郎さんが、あるインタビューの中でこんなふうにしたことがあったそうだ▼「型は完成したものである。その型をならうのだけれども、そこにあるところがわかれば、型から自由になることができるし、自分の型をつくることもできる。」▼この言葉には、最初に型への大きな信頼がある。その信頼を基にまずは型を倣っていく。倣うとは、型に身を任すということだろうか。そして倣い続けていくことでついにその型を成した先達の心と自分の心が一致すると、今まで倣ってきた見た目の型ではなく、型に込められた心を中心に据えて動くことができるようになる。こういう意味の言葉かと思う▼この坂東玉三郎さんの言葉を受けて、さらに、教区の新任教師研修会でもご尽力いただいている竹橋太先生から、「なぜ念仏するのか」に関してご指摘いただいた言葉を思い出した▼「私たちは、何かをするとき、それが何か調べて、学んで、知って、それが何なのかかわかったら、それをやる。そういうことに慣れていきます。」との指摘だった▼僕は、「その通りだな。」と思って聞いていた。しかし先生は、その後少し間をおいて、こう続けられた▼「それを、疑ってみよう。」▼僕はこの言葉に大きな衝撃を受けた。「違うのか!?!」という思いだった。そしてその後しばらく経って思い至った▼まずその型に自分を当てはめてみる、というところから始められない。わからないものに寄り添い、尊重していくのではなく、わからないものは学ばない、意味がないかもしれないと思いついてやらない。事実よりも、自分の見做しが優先なのだ▼だから僕は念仏申すことに悩んでいたのだ▼また、「疑ってみよう。」という呼び掛けであったことも大変ありがたかった。「それは間違いなので、直しなさい。」などと言われたら僕は抵抗していただろう。「僕にはそれしかできないんだ。僕の人生の何がわかるのか。」などと感じたことと思う。しかし先生の言葉は否定ではなく、促しだった。こちらへの信頼を感じる言葉だった。おかげで僕は、疑ってみることができたのである▼もう少し言うと、僕にとってこのお言葉は「疑うことをしていいのだよ」とお許しだけのことだった。これが先ほどの「信頼」の内容である。矮小な自分の見做しで視野狭窄に陥り、一步も出られずもがいていた僕に、「大丈夫だよ」と背中を押してくださった言葉なのだった▼(つづきがあるのですが、長くなってしまったので今回はここまでいたします)▼南無阿彌陀仏

## 新潟親鸞学会からのお知らせ

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄 超願寺内  
Tel 025-222-2820 Fax 025-222-2830 Mail choganji@nifty.com